

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

June / 14 / 2013 # 3

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『音楽家という職業』

[2] Pepeのひとりごと

『楽器選び』

[3] おすすめ動画

『Sjov med tromboner』

『Mnozil Brass - The Competition』

[4] 演奏のヒント！

『音階練習は、指やポジションの練習だけではないんですよ』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『音楽家という職業』

もうけっこう前のことになりますが、大阪にあるプロフェッショナルの吹奏楽団「大阪市音楽団」が、大阪市からの助成を受けられなくなってしまい、存続が危ぶまれている、ということが話題になりました。

一般的にはニュースでよく話題に上がっていた時だけ関心を持たれていたように思いますが、もちろん当事者たちには常にこの問題がくっついていました。

今、世界中を不景気の波が襲っています。
もちろん、各国の音楽業界にも。

つい先日も、ギリシャ政府が放送局（オーケストラと合唱団を持っている大きな局だそうです）を大幅に縮小しよう（なくそう？）としているというニュースが入り、僕も署名活動に賛同しました。

何年も前からドイツではオーケストラの数が減ってきていて、フランスでも数年前から存続が危ぶまれているオーケストラが出てきています。

音楽の必要性、重要性を思い思いに訴えるのはそんなに難しいことではありませんが、それを経済のことと関連付けて説明をする、または説得するというのは本当に難しいことだと思います。

音楽はもちろん生きていく上で必要なことだし、音楽がこの世からなくなると大変なことになる（というか世の中が今のような感じではいられなくなる）と思います。

しかし、それを国の経済のことをコントロールしている人たちにどう論理的に説明をしていくのか。

これは、音楽家個人個人にとっても考えなくてはいけないものだと思います。

大阪市音楽団の人にとっても、今のこのような状況になるまでは自分たちの所属する団体のコンサートの集客、宣伝について今ほど真剣には正直なところ考えていなかったと思います（あくまでも僕の推測です）。

今回の出来事は、当事者にとってはとても大きなことで大変なことだと思いますが、これは当事者だけでなく、音楽家全員がもう一度活動の原点に戻り、もっと真剣に現状を受け止めて勉強していかなければいけない、ということを改めて知らしめてくれたのだと思います。

「好きなことを仕事として活動できる」というだけではなく、自分が音楽家として何ができるのか、何をしていくべきなのかを常に自問しながら、かつ生きていける（生活していける）ように運営（経営）をしていくことが必要だと感じています。

アメリカの僕の友人や知り合いは、大学できちんと経営学を勉強していたりします（本職はもちろんプロフェッショナルの音楽家です）。僕はこれを聞いてから、昔から自分で本などを読んで経営学のこともしかじるようになりました。

現状はまだまだなのですが（涙）、どのように進めていこうという計画は立てられています。

今は「それをうまく実行する」という課題に向かっているところなのですが、これからも学ぶことを続けていこうと思っています。

音楽家になろうと考えている人は、ぜひこういうふう広い視野を持って、必要なことの勉強を同時進行で進めていってくださいね。

[2] Pepeのひとりごと

『楽器選び』

春、日本では新年度の始まりです。

新年度の始まりは、1年の中でも楽器が最も売れる時期の一つになっています。

みなさんご存知のように、楽器はとても高価なものです。

その楽器を購入する場合、もちろんいい楽器を買いたいと思うのは当たり前のことだと思います。

この場合の良い楽器とは？

まあ、簡単に言うと、

- ・吹きやすい
- ・いい音！
- ・音程がいい
- ・きれい、カッコいい（笑）

などなど・・・。

そこで、今日は楽器購入の際に選択の基準にする項目を一つ付け加えてもらおうと思います。

それは、「今の自分に合っているかどうか」です。

もちろん、「憧れの楽器を手に入れる」という目的も大切なことだと思います。

そういうタイプの人にはそれでいいのですが（良い悪いではなく、何を重要と感じているかを大切にしてもらいたいと思っています。なので、憧れの楽器を手に入れることを一番の目的としていても、何もおかしいことだと

は僕は全く思いません)、その楽器を使って今よりもよりよい演奏がしたい、よりよい演奏家になりたいと思っている人は、ぜひ「今の自分に合っているかどうか」も選択項目の一つに加えてもらいたいと思います。

自分に合っている楽器を使うことによって、同じ練習をする場合でも練習効果は上がります。

逆に、自分に合っていない楽器(大きすぎる、または小さすぎるなど)を使っていると、どんなに正しい練習方法をやっても、上達に時間がかかってしまったり、必要以上に苦勞したりすることになってしまいます。

陸上選手などの靴に例えるとわかりやすいでしょうか。

サイズの合っていない靴でいくらい練習をしても記録は伸びないと思いますよね？

それと同じことだと思ってください。

「今の自分に合った楽器」と出会うため、ぜひ、楽器を購入するときにはプロフェッショナルの人やそれに近い人にアドバイスをもらうようにしてみてください。

きっと、何年経ってもあなた自身が納得&満足できる楽器と出会うことができますと思います。

周りにそういう頼める人がいない場合は、楽器屋さんに相談してみてくださいね。どなたか信頼できる人を紹介してくれると思いますよ。

いいパートナー(楽器)と一緒にいると、音楽をする喜びも何倍にも大きくなりますよ!! :D

[3] おすすめ動画

『Sjov med tromboner』

<http://www.youtube.com/watch?v=-n2d7VE5d4M>

世界を代表するブラスアンサンブルグループの一つ、「ジャーマン・ブラス」のアンコールピースです。

みんながスライドで操作する楽器に持ち替えて演奏しています。

すべての奏者にすごく高いテクニックが必要なのですが、それを感じさせない素晴らしいエンターテインメントだと思います。プロフェッショナルですね!!

聴いてる人をワクワクさせ、さらに演奏でも満足させる。

ステージで演技(演奏)をする人にとって忘れてはならないことです。

ぜひ、たくさんの人に生で聴いてもらいたいですね~。

僕は幸い、ドイツに住んでいた時に生で聴くことができました！

ちなみにここで登場する小さいトランペットたちは、ドイツの楽器メーカー「タイン」社の作ったものです。

『Mnozil Brass - The Competition』

http://www.youtube.com/watch?v=iHj_ZUB9Two

もう一つは、少し前に来日もしていたオーストリアのグループ、「Mnozil Brass (ムノツィル・ブラス)」です。

このグループは、エンターテインメント性にあふれているにもかかわらず、専門の人が聴いてもたまげるほどの実力をメンバーみんなが持っています！

僕が気に入っているのは、その超絶な技術を決してひけらかすことなくコンサートをエンターテインメントとしてやっていることです（ジャーマン・ブラスにも全く同じことが言えますが）。

専門の、わかる人だけがすごさをわかればいい、あとの人はすごいことに気づかないでただただステージを楽しんでもらいたい！というスタンスは僕の持っているものと同じなので、本当に共感しながらとてつもない技術にたまげると共に楽しめます。この演奏も、ぜひ機会があれば生で聴いてみてもらいたいですねえ。

最後に、ムノツィルの別の動画を。
生で聴いたコンサートでもやっていた、僕のお気に入りです（笑）。

おまけ

http://www.youtube.com/watch?v=uo6lZBvD9_g

[4] 演奏のヒント！

『音階練習は、指やポジションの練習だけではないんですよ』

みなさん、音階練習は日頃の練習内容に加えていますか？
音階練習はいろいろな練習内容を含んでいます。
それをしっかり理解した上でほんの少しの工夫を加えると、同じ時間でたくさんの練習（深い練習）をすることができます。

いくつか具体的に挙げてみますね。

まず、息の流れの確認。

これは、ロングトーンを練習するときに気をつけていることを音階

練習の時にも気をつけてやるとできます。

音階を吹くと音域が変わっていきませんが、その時その時の音域に合った息の流れ（スピードや圧力）を上手くコントロールできるように練習してみましょう。

あと、音程の確認も音階練習できちんとすることができます。

この場合は、決して速すぎないテンポでやってくださいね。

よく音を聴きながら吹くことがポイントです。

一つ一つの音を聴くのではなく、いくつかの音の「流れ」を聴くように注意してやってみましょう。

音程が「高い／低い」という感覚で聴くのではなく、音と音との隔たりが「広い／狭い」という感覚で聴いてみてください。

特に違和感がなければそのまま他の調や、上り／下りを入れ変えて吹いてみましょう。

音程が良くないと、何かしらしっかりこない違和感を感じると思います。

その場合はチューナーを使ったりハーモニーディレクターやピアノで音を出しながら一緒に吹いてみて音程のチェックをしてみてください。

完璧にできるまでやるのではなく、完璧ではなくても他の調をどんどんやっていってください。そうすると、狭かったり広がったりする感覚がなんとなくわかってきますよ。

音階の音の並びには法則があり、大きく分けて半音1つ分変わる時と半音2つ分（1音＝全音）変わる時があります。

半音1つ分だけ変わる時の位置の違いで、長調になったり短調になったりします。どこが全音変わる時で、どこが半音変わるときなのかを意識しながら吹くだけで、ずいぶん感覚が変わってくると思います。ぜひ試してみてください。

音階練習は、上行形（上り）からする人が多いと思いますが、ぜひ下行形（下り）からもやってみてくださいね。

上ってから下りるときは吹けても、いきなり下行形からやると指やポジションが不思議とわからなくなったりするんですよ。

こうなってしまう人は、しっかり下行形からも練習をしていきましょうね。

Tromboneの人は、上行形の時と下行形の時とで、同じ音の同じポジションが違うことがよくあります。

え、まさか??なんて思ったりしないで（笑）、厳しくチェックしてみてください。

ください。

同じように動かしていても同じじゃないことをやっているのが「人間」
なんですよ！！（笑）

最後に、音を変える時に指やスライドを動かすのとピッタリのタイ
ミングでタンギングをしているのかを厳しくチェックしてみましょう。

それらのことに気をつけながらやると、ただ音階を間違えないように吹く
だけの練習より何倍も濃い練習内容になりますよ！

タンギングのタイミングが合うようになると、音階を吹きながら
レガートやスタッカートなど、いろいろなタンギングの種類でもやって
みましょう。

音域によってタンギングが甘くなったりしないように注意してやって
みてくださいね。

編集後記

まだ6月だというのに、本格的な暑さになっていますね・・・。
僕の住んでいる愛媛県松山市は、市の水がめ「石手川ダム」の貯水
可能量が少ないため、毎年簡単に水不足の危機に瀕してしまいます。

今年も、梅雨入りしてからまともに雨が降っていないので、今から
夏の水不足が気になってしまいます（1994年に深刻な水不足を経験
しています。もうあんな不便は経験したくな～い！）

これから本格的に暑さ対策をしていかないといけませんね。
暑さと不景気に負けず、頑張っていきましょう～！：)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com